

三心を磨く

学校だより NO. 19

平成29年 9月22日(金) 発行

須坂市立 東 中学校

文責：金井 勝久(教頭)

<http://www.azuma-school.ed.jp/>

全国学力・学習状況調査の結果より

4月18日(火)に、全国の中学校3年生・小学校6年生が行いました「全国学力・学習状況調査」の結果が8月28日(月)に公表されました。今後の教育活動に役立てるため、本校の結果を分析いたしましたので、その概要をお知らせいたします。

尚、この調査により測定できるのは学力の特定の一部であり総合的な学力を示すものではありません。

1 調査の概要

(1) 調査対象 中学校 第3学年 (本校の調査実施人数：58人)

(2) 調査内容

①教科に関する調査

・主として「知識」に関する問題(国語A、数学A)

・主として「活用」に関する問題(国語B、数学B)

②質問紙調査

・生徒に関する調査 ・学校に関する調査

2 調査結果の概要

(1) 教科に関する調査結果の概要

	国語A(主に知識)	国語B(主に活用)	数学A(主に知識)	数学B(主に活用)
全国との比較	同程度	同程度	同程度	下回る
長野県との比較	同程度	同程度	同程度	やや下回る

【全体考察】 昨年度に比べて、どの調査内容も大きく改善されてきています。その結果、「数学B」を除いて、すべてが全国平均・県平均と「同程度」の結果となりました。これは昨年度からの取り組みである「ICTを活用した先生方の授業改善」や「家庭学習の日」「補習の日」の実施、生徒たちの学びを「インプット型」から「アウトプット型」への転換をめざした取り組みの成果が、少しずつ見え始めた結果だと思われます。

この結果を足がかりに、より一層の学力向上と授業改善を進めていきたいと思えます。

(2) 各教科の調査結果と今後の対応の概要

① 国語

主として「知識の定着」を見る「国語A」の調査結果では、評価の観点である「書く力」「読む力」「言語についての知識・理解・技能」では、概ね定着しているとの結果となり、「話す・聞く力」に課題が見られました。また、「活用する力」を見る「国語B」の調査結果では、「書く力」がやや低いとの傾向が見られました。

今後、自らの考えを書いたり話し合ったりする活動を授業の中で実現させ、豊かな言語活動を通し、活用面での「聞く・話す・書く力」をさらに高めていく必要があります。日常の授業でも取り組んで参ります。

② 数学

主として「知識の定着」を見る「数学A」の調査結果では、全国平均・長野県平均を上回ることができました。提出ノートの徹底、県教委作成のクリア問題・チャレンジ問題等の活用と確認がその要因として考えられます。毎日の積み重ねを大切にさらなる復習の徹底をして参ります。

「活用する力」を見る「数学B」の調査結果では、「数学的な技能」に課題が見られました。「図形」や「資料の活用」などの領域で、基本的な知識・技能の定着を図ると共に、話し合う場面を授業に位置づけ、数学的な思考や表現力を高めていく必要があります。

(3) 生徒質問調査の結果（第2次長野県教育振興基本計画の指標となっている項目より）

質問項目	平成28年度	平成29年度	平成29全国
① 学校の授業がよくわかる	70.2%	91.4%	69.4%
② 自分の将来の夢や希望をもっている	66.3%	79.3%	70.5%
③ 今住んでいる地域の行事に参加している	60.5%	62.1%	42.1%
④ 自分にはよいところがあると思う	63.7%	84.5%	70.7%
⑤ 人の役に立つ人間になりたいと思う	94.8%	94.9%	91.9%
⑥ 毎日、朝食を食べて登校している	94.8%	96.6%	93.2%
⑦ 学校に行くことが楽しい	74.1%	75.8%	80.9%

【考察】

①の「授業がよくわかる」と答えた生徒の割合が大きく上昇しました。これは昨年度から始めた「ICTを活用した授業」「協同的な学びの実践」が定着してきた成果だと思われます。動きのある授業（視覚や聴覚に訴えたり、聴き合ったり話し合ったり調べたりする活動など）にさらに取り組み、「わかる授業」をめざしこれからもさらに授業改善を進めて参ります。

②④の割合の上昇からは、生徒たちの「自己肯定感の高まり」が感じられます。生徒のよさを認め、励ます指導をこれからも継続し、さらに自分自身に自信もてる生徒の育成をめざして参ります。

⑥より、毎日朝食を食べる生徒の割合が上昇しました。朝食は1日の活力となり、健康のバロメーターでもあるので、100%をめざしていききたいと思います。

⑦の「学校に行くことが楽しい」については、数値としては前年度よりも向上していますが、全国平均と比べると決して高いとは言えません。90%の達成をめざし、授業や諸活動、行事の充実を図って参ります。

(4) 生徒質問調査の結果（抜粋）

質問項目	平成28年度	平成29年度	平成29全国
⑧ 家で、宿題をしている	79.2%	93.1%	89.5%
⑨ 家で、学校の授業の復習をしている	35.6%	36.2%	50.5%
⑩ 家で、自分で計画を立てて勉強している	31.2%	46.6%	51.5%
⑪ 先生は、あなたのよいところを認めてくれる	84.5%	84.5%	80.4%

【考察】

⑧「家で、宿題をしている」と答えた生徒の割合が増加しました。ほとんどの生徒に、「宿題はしっかり家でやらなければならない」という学習習慣が身につけてきたように思われます。「まずは宿題にしっかり取り組む」が基本ですので、この数値の上昇はとても喜ばしいことです。

しかし、宿題以外について見ていくと、⑨⑩に示されているように、「復習」や「自主学習」についての取組は、昨年度に比べると上昇していますが、全国平均に比べるとかなり低い結果となっています。昨年度からの取組で、「自主学習」への取組を始めている生徒が増えていることは大変うれしいですが、取組めているのはまだまだ半数弱の状態です。「宿題以外の授業の学習や復習に力を入れること」「自分から計画を立て勉強すること」の習慣も確立させていく必要があります。「家庭学習」や「自主学習」について、その取組状況をもう一度見返し、指導していききたいと思います。

学力の向上には、家庭学習の充実が不可欠です。引き続きご家庭でもご指導お願いいたします。

尚この他としては、テレビやDVDの視聴、ゲームやインターネットなどの使用に、多くの生徒たちが1日辺り「3時間以上費やしている」という実態も見えてきました。メディアが氾濫する現代社会です。どのように利用したらよいのか、学校とご家庭で連携しながら進めていく必要を強く感じました。

